

病院年報（平成21年度）：国際保健医療科

1. 国際保健医療科の沿革と活動概要

国際保健医療科は、病院理念をもとに、平成6年（1994年）10月に佐久総合病院の地域医療や農村医学研究の経験と成果を生かして、国際協力活動を進めるため設立された。行動目標には、“中国ならびに途上国における国際保健医療”をあげてあるが、中国での活動は、歴史的に国際農村医学会やアジア農村医学会を通じての活動による。国際保健医療科は、中国以外の途上国相手の活動が中心となっている。国際保健医療科の主な活動のひとつは、途上国からの研修員受け入れによる地域保健研修である。一定の研修プログラムで研修を開始して以来、1999年から2009年現在まで、70カ国から645名の研修・視察者を受け入れた。2008年から2年連続して、農村保健研修センターでインドネシア青年研修事業を実施した。海外活動としては、2002年より、国際協力機構（JICA）プロジェクトやJA全中と協力して、フィリピンルソン島北部のベンゲット州とマウンテン州において、八千穂村をモデルにした健康管理活動を実施した。本活動は、現在はプロジェクト期間を終了し、フォローアップを実施中である。フィリピンでの活動は、研修フォローアップとして最初に実施されたものであり、研修によるネットワークを活用した国際協力モデルである。2005年より2007年まで、厚生労働省（国際医療センター）の国際医療協力研究班、“途上国における社会開発、地域保健システム強化に関する研究”として、フィリピン、ラオス、ベトナム、セネガルなどで主として保健ボランティア調査をおこなった。この調査活動を踏まえて、2007年度より、ラオスの2県（ビエンチャン県、ウドムサイ県）で、“健康村運動”をコンセプトに協力活動を実施している。この2県では、健康増進の日を設けて、佐久病院の病院祭にならった全県的な病院祭りを定期的実施している。ラオスでの協力活動を進めるために、2008年からは、毎年、北部ルアンプラバンでパートナーと合同会議も実施している。2005年から長野スリランカ友好協会と連携し、スマトラ沖大地震支援活動として津波孤児の教育支援を継続してきたが、2008年に、スリランカ保健省とも協力し、同国に中古医療機器供与した。2009年には、同国のキャンディ県で、南アジア地域連合村（SAARC village）で、“友好の家：多目的コミュニティーセンター”の建設プロジェクトを開始した。“友好の家”をベースにした“村づくり運動”が目標である。友好の家プロジェクトは、スリランカ青少年大臣の協力も得て、25年の内戦が終わった北部でも、難民帰還支援活動として実施することを検討中である。2009年10月には、横浜で開催されたJA全中農協大会の国際協力セミナーにおいて、これまでの佐久病院の国際協力について、“農村医療と国際協力—交流から協力へ”というテーマで報告をおこなった。研修や海外協力活動は、地域保健システムつくりとその管理運営、保健を通じた村づくり（Healthy Village Campaign）という二つの明確なテーマを掲げて実施している。

（国際保健医療科：出浦）

図1：年次別海外研修視察者（1999－2009年）

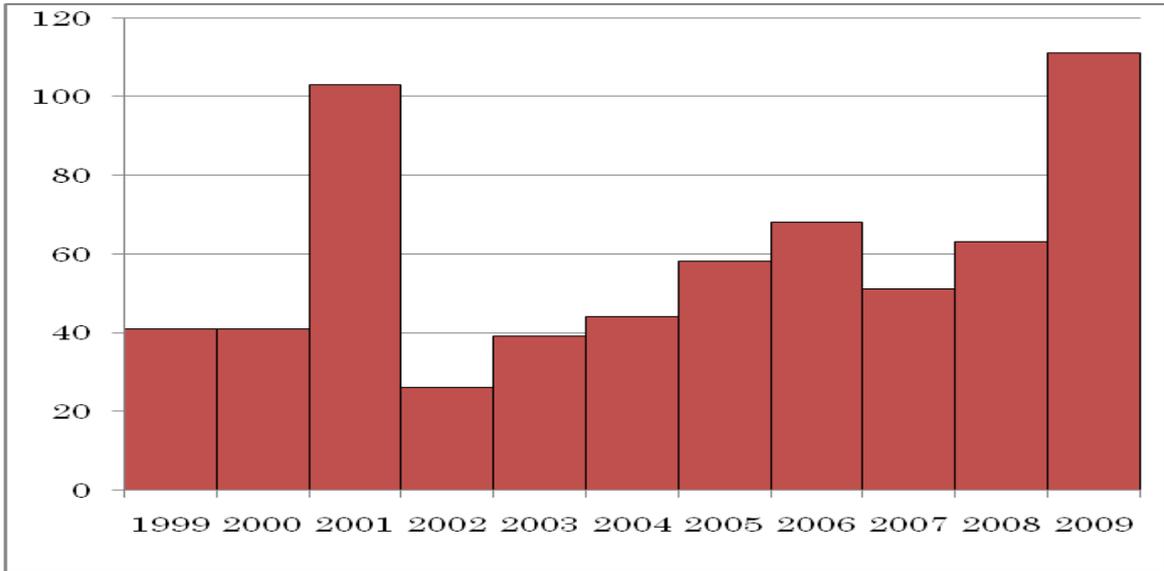


図2：研修視察者の地域別および関係機関別割合
（70カ国より645名の研修視察者があった）

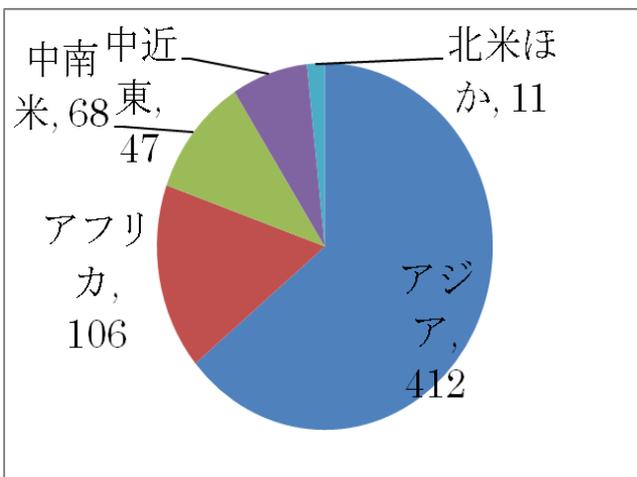
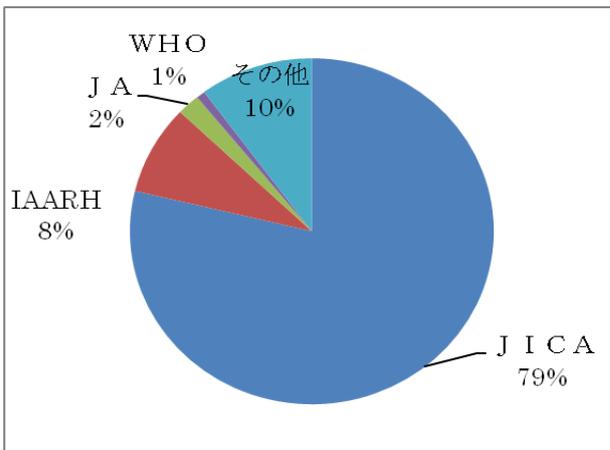


表 1 : 地域・国別研修視察者数(1999 年—2009 年)

アジア・オセアニア		アフリカ		中南米		中近東		北米		国際機関	
	人数		人数		人数		人数		人数		人数
中国	39	ガーナ	8	ブラジル	3	パキスタン	6	USA	10	WHO	1
フィリピン	59	ケニア	6	メキシコ	2	エジプト	9				
タイ	49	コートジボワール	8	ホンジュラス	7	シヨルダン	4				
中華民国	6	セネガル	16	ボリビア	17	パレスティナ	3				
韓国	6	タンザニア	2	パラグアイ	11	アフガニスタン	16				
ラオス	45	マリ	6	チリ	5	イラク	7				
インドネシア	65	ザンビア	4	ペルー	2	ウズベキスタ	1				
マレーシア	4	モリタニア	5	パナマ	1	イエメン	1				
インド	7	南アフリカ	1	ドミニカ	8						
パングラदेश	14	ニジェール	5	コスタリカ	1						
ネパール	20	ブルキナファソ	6	キューバ	2						
ミャンマー	7	ギニア	6	ウルグアイ	1						
ベトナム	65	ルワンダ	1	セントクリストフ	1						
モンゴル	4	マラウイ	5	エクアドル	1						
カンボジア	7	セーシェル	2	グアテマラ	6						
パプアニューギニア	7	マダガスカル	7								
キルギス	3	カメルーン	3								
フィジー	1	ウガンダ	2								
キルギスタン	1	ガボン	1								
ブータン	1	サントメプリン	1								
ソロモン	1	チャド	1								
スリランカ	1	トーゴ	1								
		ジンバブエ	3								
		ベニン	1								
		コンゴ	5								
研修員	412		106		68		47		10		1
国数	22カ国		25カ国		15カ国		8カ国		1カ国		1機関

(70カ国 1 国際機関から合計645人：名古屋大学 YLP、ハーバード大学 Japan Trip 等の教育機関からの外国人視察は除く)

写真 (左) : フィリピンの健康管理活動プロジェクト (2002 年～)

写真 (右) : ラオスの健康村づくりプロジェクト (2007 年～)



写真（左）：インドネシア青年研修事業（2009年、農村保健研修センター）

写真（右）：スリランカ“友好の家プロジェクトー南アジア地域連合村”

